
奇談「異相者」

榊田珪赤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奇談「異相者」

【コード】

N0712V

【作者名】

榊田珪赤

【あらすじ】

交差点にて怪に逢う事。現代版奇談。自サイトより転載。

正午、人が行き交う街中の交差点、その真ん中に、一人の異相者が居た。

その異相者は、顔の半分が醜く焼け爛れていたが、もう半分は色白の、恐ろしく整った顔をしていた。中性的な顔をしていたが、仕立ての良いグレーのスーツを着ている。だがその背中は老人のように曲がっていて、足は裸足だった。

その異相者は一人の娘を呼び止めると、たった一言「電話線」とだけ口にした。

娘が戸惑っていると、異相者は強引に握手をしてきた。嫌がった娘が手を振り払おうとすると、異相者の手首から先が取れた。

手が取れた途端、異相者は人混みの中に姿を消したが、取れた手首は娘が持っていたトートバッグの中に入れてしまった。

娘は恐る恐る鞆の中を確認してみたが、確かに入った筈の手首は何処にもない。

不思議な事もあるものだと思われ、自宅に帰り、ふと気になって電話線を見ると、鼠にかじられ、二センチ程銅線が剥き出しになっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0712v/>

奇談「異相者」

2011年7月21日13時04分発行